

**政策 05 環境と調和したまちづくり**

**施策 01 資源循環型社会の形成**

**あるべき姿**

施策がめざす尾張旭市の姿  
市民・事業者・行政の協働により、資源循環型社会が形成されています。

**施策の成果状況と評価**

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	ごみ総排出量 ( t )	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値
		【環境課】	27,492	25,209	24,805	26,400
評価	前年度に比べ、実績値 (H30) が404 t 減少した。これは、市民や事業者とともに、一般廃棄物処理基本計画に基づく取り組みを進めてきた成果であると考えられる。今後もさらなるごみの減量と資源化の推進を図る必要がある。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 資源循環型社会の啓発

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	リデュース、リユース、リサイクルを意識し、行動している市民の割合(%)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【環境課】	93.4	91.3	93.7	94	☀ (向上)
評価	前年に比べ、実績値(H30)が2.4ポイント増加しており、高い水準を維持できている。これは、さまざまな手段により3Rの周知を図ったことも影響していると考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						(---)

## 基本事業02 減量化の推進

指標	市民一人一日あたりのごみ総量(g)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【環境課】	921	836	820	893	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が16g減少した。ごみ減量施策の推進により、市民一人一日あたりのごみ総量は年々減っており、市民や事業者と連携した取組の結果と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 減量化の推進

指標	発生抑制(リデュース)に取り組んでいる市民の割合(%)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【環境課】	91.9	89.4	93.2	92	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が3.8ポイント増加した。これは、マイバック持参が浸透したことや、容器を廃棄することなく詰め替えできる商品が増えていること、食品ロスに対する問題意識の高まりなども影響していると思われる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業03 リサイクルの推進

指標	資源化率(%)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【環境課】	30	28.3	27.5	31	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が0.8ポイント減少した。これは、古紙をはじめとする資源ごみの回収実績が減っていることが要因と考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

**基本事業03 リサイクルの推進**

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【環境課】	30.5	25.2	23.6	27.5	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が1.2ポイント減少した。これは、自治会へのごみ分別意識調査や、PR内容の見直しなどを行ったことにより、市民のごみ分別意識の向上が図られたと考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業04 リユース活動の推進**

指標	環境事業センターにおけるリユース件数（件）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【環境課】	129	551	568	300	☀ (向上)
評価	リユース件数は、既に平成35年度の目標を達成している。リサイクル広場の入場者数は年々増加しており、こども用品を対象としたリユース品の引取・提供事業が多くの市民に浸透してきていることや、リユース品の自転車についても、市民活動課との連携も含めて、年間を通じて安定して提供できたことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業04 リユース活動の推進**

指標	再使用している市民の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【環境課】	38.3	39.9	40.2	40	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.3ポイント増加した。成果としては、ほぼ現状維持と考えられるが、インターネットを利用したフリマアプリなどが浸透し、リユースがより身近なものになったことも影響していると考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業05 ごみ処理体制の整備**

指標	ごみ残置シール貼付数（枚）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【環境課】	4,662	1,736	2,895	4,400	☀ (向上)
評価	目標値を下回る数値ではあったが、平成29年度と比較すると大幅に増えている状況。分別収集をより一層推進するため、燃えるごみとして家庭から排出されるごみの中に、資源ごみ（雑紙・古着等）が多く含まれているものがあり、そうしたごみを回収不可として残置したことが原因と考えられる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業05 ごみ処理体制の整備

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	ごみ収集に関する不具合・事故件数(件) 【環境課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
評価	事故2件、故障8件で計10件となった。車両の突発的な故障は、収集車の経年劣化に伴い増えているものと思われる。ごみ収集車両の突発的な故障や事故はいつ起こるか分からない部分があるが、直営作業員や委託業者には日常点検及び安全作業に関する行動マニュアルの作成の指導を行い、日々の収集に影響が出ないようにしている。					(向上)
		(件) 				対前年度 (低下) 目標達成度 (達成)